

第10回全国和牛能力共進会出品牛決定



第10回全国和牛能力共進会の鹿児島県最終予選会が8月30日に始良中央家畜市場で開催され、鹿児島県代表の29頭が選抜されました。

10月25日（木）～29日（月）の5日間 長崎県佐世保市（ハウステンボス）を中心に開催される第10回全国和牛能力共進会に出場します。

本市より次の方が鹿児島県代表として出品されます。

全国和牛能力共進会

曾於市出品者（敬称略）

第2区（若雌の1）

橋野宮脇 塩田 秀峰

第4区（系統雌牛群）

口弁木 桐野 昭仁

第7区（総合評価群）種牛群

橋野宮脇	森岡 徳幸
橋野宮脇	森岡 雄次
橋野宮脇	森岡 六男

※全国和牛能力共進会とは、和牛の能力と斉一性の向上を目指すとして、五年に一度開催される全国規模の共進会です。

財部支所秋季畜産品評会

9月5日に開催され、財部南小・財部北小・中谷小学校の5・6年生児童が体験学習に訪れ、体験したことや学んだことを手紙に書いて、届けてくれました。

その一部をご紹介します。

畜産品評会で

中谷小5年 小倉 伍晟

少しどきどきしながら牛にさわってみました。とてもふわふわしていて気持ちいいでした。牛はおとなしくてさわってもあばれなかったのでもっとしました。牛はヒモで引ばられて鼻がいたそう。牛はバランスの良いものがないそうです。みんなもつとバランスの良い牛になれと言ったあげたくなりました。牛は人間に食べられる動物、人間は牛を食べる生き物。ぼくたちは、いろんな動物たちのおかげで生きています。牛たちの命は、ぼくたちの命につながっているということだから、動物たちにももらったこの命に感謝しながら大切にしたいと心からそう思いました。

品評会に行った感想

財部北小6年 松尾 明

私の家の近くのおじいちゃんやおばあちゃんたちはみんな牛を大事に育てています。

九月五日に品評会に行きました。私は動物なら何でも好きで、牛も大好きです。だから近くで見れたりさわれた

り出来ると聞いてうれしくなりました。でも実際にさわるとなると怖くなりました。でもまったくおとなしかったです。汚れているイメージでしたが、角も爪もちゃんと手入れされていて毛もつやが良く、てかてかしていました。顔も闘牛のように怖いかと思っていただけ目が丸く、耳がびくびくかわいくて鼻もぬれていました。

品評会に参加して、となりのおじいちゃんたちが牛をどれだけ大事にしているか改めて分かりました。

財部農業体験に参加して

財部南小6年 岩元 るな

私は、財部農業体験に参加して、初めて知ったことがたくさんありました。

私が一番すごいと思ったのは、牛を選ぶ時、しんさ員の方が目で見て決めていることです。今まで私は、色んな所を測ったりしてしんさするのだと思っていたのでとてもおどろきました。

私たちが実際に近くで見たり、さわると、毛なみもきれいでつやつやしていて、すごく体が大きく、とてもすばらしかったです。

どの牛が選ばれるか予想した時、私が予想していた牛が選ばれていて、とてもうれしかったです。こんなに牛がきれいにできるとすごいいいと思いました。

※ほか十七人から心温まる手紙をいただきました。